

平成 21 年度 教育委員会 部局長マニフェスト

私の思い 教育長 中西 正人

今、教育に寄せられる府民の期待には切実なものがあり、それに応え、大阪の教育を変えようとする改革の機運が芽ばえつつあります。

私はこうした改革の流れをより確かなものとし、府域全体で大きく盛り上がるよう、全力を尽くします。

学校は、子どもたちが一日の大半を過ごす場です。子どもたちは互いに違いを認め合い、高めあいながら、自分の夢に向かって、勉強やスポーツ等に積極的に取り組む。先生は子どもたち一人ひとりを前を向いて引っ張る。そして地域全体で学校を支えていただく。学校を核にこのような関係を築くことで、大阪の教育を充実させていきたいと考えています。

また、校長はどのような学校をめざすのかビジョンを持ち、その実現に向け、教員を引っ張って行って欲しい。同時に、がんばる教員が報われるという風土を築きたいと思います。

学校現場と教育委員会及び大阪の教育に携わる人の力が1つの方向に向かうよう、現場重視で、スピーディーな情報伝達と風通しのよい組織づくりをすすめ、「教育・日本一 大阪」の実現に向け、全力をあげて取り組んでいきます。

**重点課題**

- 1 . 基礎・基本を徹底し、学校が地域・家庭と連携して、子どもたちの学力を最大限に伸ばします
- 2 . 「入ってよかった」と言われる府立高校づくりに向けて、新たな特色づくりの基礎を築きます
- 3 . 支援学校の整備や就労支援の充実により、障がいのある子ども一人ひとりの自立をしっかりと支援します
- 4 . 中学校への学校給食（スクールランチ）の導入などにより、子どもたちの体力と健康づくりを進めます
- 5 . 教員の授業力を高めます

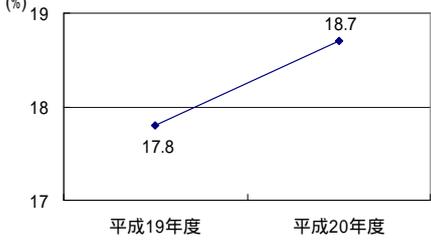
【重点課題：基礎・基本を徹底し、学校が地域・家庭と連携して、子どもたちの学力を最大限に伸ばします】

遂行目標（プロセス）	業績目標（結果）
<p align="center">【 戦略課題の目標 】</p> <p>(1) 一人ひとりの子どもたちに確かな学力をはぐくむための教育内容の充実</p> <p>(2) 学校・家庭・地域が一体となった「教育コミュニティ」づくりの一層の推進</p>	<p align="center">【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>企画室と調整の上、目標設定 「義務教育における子どもの学力が向上した」と実感する府民の割合 地域の子どもと道で会ったとき、積極的に声をかける保護者の割合</p>
<p align="center">【 施策推進上の目標 】</p> <p>(1) 一人ひとりの子どもたちに確かな学力をはぐくむための教育内容の充実</p> <p>基礎・基本を徹底します</p> <p>全小・中学校で、府作成の学力テストや単元テストなどの活用を促進し、確かな学力の定着を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>平成 20 年度 「学力テストの活用状況」 小学校：93.3% 中学校：92.1% 「単元別テストの活用状況」 小学校：40.1% 中学校：25.2%</p> </div> <p>全小・中学校で、計算・漢字などの反復学習等に取り組む、基礎・基本の定着を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>平成 20 年度 「反復学習の実施状況」 小学校：91% 中学校：73%</p> </div> <p>規則正しい生活習慣や家庭学習習慣を身につけさせるとともに自ら学ぶ力をはぐくみます</p> <p>放課後学習室「おおさか・まなび舎」を拡充します。【小：300/528校、中：220/291校】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>平成 20 年度 小：140校、中：103校 平成 22 年度 全小・中学校で実施</p> </div> <p>自学自習ワークブックを充実し、80%の小・中学校で活用をはかります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>平成 20 年度 小・中学校の活用状況 50.3%</p> </div> <p>3つの朝運動（朝食・あいさつ・読書）に取り組み、全市町村参加のフォーラムを開催します。</p> <p>(2) 学校・家庭・地域が一体となった「教育コミュニティ」づくりの一層の推進</p> <p>全中学校区（291 校区）で、学校支援地域本部(注)を設置し、その活動拠点を整備します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>平成 20 年度 234 中学校区で設置</p> </div> <p>注：学校支援地域本部とは、地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を可能とし、(教員と)子どもが向き合う時間の拡充を図ろうとするもの</p>	<p align="center">【 アウトプットの数値目標 】</p> <p>平成 22 年度「全国学力・学習状況調査」において、下記の指標で全国平均をめざす。</p> <p>(グラフは、平成 20 年度「全国学力・学習状況調査」結果)</p> <p>正答率</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(%)</p> <p>小学校 中学校</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(%)</p> <p>小学校 中学校</p> </div> </div> <p>家庭で 30 分以上学習している割合 復習をする習慣がついている割合</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(%) (家庭学習)</p> <p>小学校 中学校</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(%) (復習)</p> <p>小学校 中学校</p> </div> </div> <p>毎日、朝ごはんを食べている子どもの割合 近所の人に会った時は、あいさつしている子どもの割合 1日の中で、まったく本を読まない子どもの割合</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(%) (朝ごはん)</p> <p>小学校 中学校</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(%) (あいさつ)</p> <p>小学校 中学校</p> </div> </div> <p>(本を読まない)</p> <div style="text-align: center;"> <p>(%)</p> <p>小学校 中学校</p> </div> <p>平成 22 年度「全国学力・学習状況調査」において、「PTA や地域の人が学校の諸活動に対するボランティアとしてよく参加してくれる」と回答している学校の割合が、小・中学校ともに 4 割を超える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(%)</p> <p>小学校 中学校</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(平成 20 年度「全国学力・学習状況調査」結果)</p> </div> </div>

**【重点課題：「入ってよかった」と言われる府立高校づくりに向けて、
新たな特色づくりの基礎を築きます】**

遂行目標（プロセス）	業績目標（結果）
<p align="center">【 戦略課題の目標 】</p> <p>(1) 生徒の幅広いニーズと教育課題に応える取組みの推進</p> <p>(2) 子どもたちの進路の選択肢を拡大</p>	<p align="center">【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>企画室と調整の上、目標設定</p> <p>「入りたい府立高校がある」と思う中学生数</p> <p>「入ってよかった」と思う生徒数</p>
<p align="center">【 施策推進上の目標 】</p> <p>(1) 生徒の幅広いニーズと教育課題に応える取組みの推進</p> <p>幅広い進路選択を可能とするようさらなる特色づくりを進め、「進学指導特色校」、「体育科」、「専門コース」、「教育センター附属研究学校」の設置対象校名と事業概要を示します。</p> <p>様々な教育課題の解決をめざした、府立高校からの企画提案を募集する「学校提案型個性化推進事業（GP事業）」を推進します。</p> <p>「職業教育日本一」をめざし、ものづくり教育コンソーシアム大阪を組織して、企業との連携を推進します。</p> <p>がんばる学校、がんばる教員を支援し、学力向上や進路実現を支えるため、土曜日等に補習・講習等を行うすべての学校に対する支援を進めます。</p> <p>中退防止のため、中退防止コーディネーターの指名を進めるなど、ヒアリング等を通じて各校の取組みを支援します。</p> <p>(2) 子どもたちの進路の選択肢を拡大</p> <p>公私の高校教育のあり方について、マーケティングリサーチや有識者からの意見聴取を踏まえ、夏頃までに一定の方向を示します。</p>	<p align="center">【 アウトプットの数値目標 】</p> <p>平成 23 年度に新たに「進学指導特色校」10校、「体育科設置校」、「教育センター附属研究学校」各 1 校を開校する。</p> <p>平成 24 年度までに「専門コース」を新たに 24 校設置する。（平成 20 年度 12 校）</p> <p>平成 21 年度中に 30 / 142 校以上の府立高校で学力向上やキャリア教育などの特色づくりを進める。</p> <p>平成 21 年度中に、工科高校 9 / 9 校で地域企業と連携したものづくり教育や企業実習に取り組む。（平成 20 年度実績 4 校）</p> <p>平成 21 年度に 50%以上の府立高校で、土曜の補習・講習等を行う。</p> <p>（平成 20 年度実績 45%）</p> <p>中退率 5%以上の学校全校で、中退率削減の数値目標を設定し、これらの学校の中退率を減らす。</p>

【重点課題：支援学校の整備や就労支援の充実により、障がいのある子ども一人ひとりの自立をしっかりと支援します】

遂行目標（プロセス）	業績目標（結果）								
<p align="center">【 戦略課題の目標 】</p> <p>(1) 障がいのある児童生徒の教育環境の整備 (2) 障がいのある生徒の就労支援</p>	<p align="center">【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>企画室と調整の上、目標設定 「障がいのある児童生徒への自立支援が充実した」と実感する児童生徒・保護者の割合</p>								
<p align="center">【 施策推進上の目標 】</p> <p>(1) 障がいのある児童生徒の教育環境の整備 府立支援学校の教育環境を整備します 知的障がい支援学校の児童生徒数増加に対応するため、豊能・三島地域における新校整備に着手します。 平成 25 年度までに、残る 3 地域において新校整備に着手。 平成 22 年度に新校整備に着手する地域を 12 月に示します。 新校開校までの児童生徒数増加に対応するため、平成 22 年度開校に向け、府内 4 地域で分校（または分教室）を整備します。 府立高等学校における知的障がいのある生徒の学習機会を充実します 地域バランス、生徒・保護者のニーズをふまえ、平成 22 年度に共生推進校を新たに 3 校設置（整備）します。 自立支援推進校・共生推進校の募集人員を実施校全体で 25 人(H20) 30 人(H21) 39 人(H22) に増員。 自立支援推進校・共生推進校の 3 年間の取組みの内容及び成果等を取りまとめ、府民に広く発信します。</p> <p>(2) 障がいのある生徒の就労支援 就労を通じた社会的自立をめざす「たまがわタイプ支援学校」の豊能・三島地域における整備に着手します。 既存の知的障がい支援学校高等部への職業コースの設置について検討を行い、11 月までに具体的な方針を示します。 関係部局をはじめ福祉・労働の関係機関や就労支援団体、企業、経済団体等と連携し、支援学校及び高等学校で学ぶ障がいのある生徒の職場実習の受入れが可能な企業について、250 件の情報を提供します。 【 平成 20 年度 150 件の情報を提供 】</p>	<p align="center">【 アウトプットの数値目標 】</p> <p>増加する知的障がい支援学校高等部生徒の教育環境を整備するため、4 分校を設置し、H22 年度約 460 人を受入れる。</p> <p>【地域別内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>豊能・三島地域</td> <td>80 人</td> </tr> <tr> <td>北河内地域</td> <td>110 人</td> </tr> <tr> <td>中河内・南河内地域</td> <td>180 人</td> </tr> <tr> <td>泉北・泉南地域</td> <td>90 人</td> </tr> </table> <p>知的障がい支援学校高等部卒業生の就職率を 3～4 ポイント向上させる。</p> <p>平成 20 年度 18.7%</p>  <p>参考：平成 25 年度目標 知的障がい支援学校高等部卒業生の就職率 35%を達成。</p>	豊能・三島地域	80 人	北河内地域	110 人	中河内・南河内地域	180 人	泉北・泉南地域	90 人
豊能・三島地域	80 人								
北河内地域	110 人								
中河内・南河内地域	180 人								
泉北・泉南地域	90 人								

【重点課題：中学校への学校給食(スクールランチ)の導入などにより、子どもたちの体力と健康づくりを進めます】

遂行目標（プロセス）	業績目標（結果）																																	
<p>【 戦略課題の目標 】</p> <p>(1) 子どもたちの体力向上の推進 (2) 学校における食育の推進</p>	<p>【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>企画室と調整の上、目標設定 「子どもが健康で体力が向上した」と実感する府民の割合</p>																																	
<p>【 施策推進上の目標 】</p> <p>(1) 子どもたちの体力向上の推進 来年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」への全校参加に向けて、市町村教育委員会に働きかけます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>平成 21 年度参加校 小学校 938 校 / 1015 校 (92.4%) 中学校 433 校 / 464 校 (93.3%)</p> </div> <p>「なわとび級判定」を 10 月までに作成し、全小学校に周知し、活用します。</p> <p>子ども元気アッププロジェクト事業におけるスポーツ大会に、35 以上の市町村（約 8 割）からのエントリーをめざします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>平成 20 年度エントリー数(26 市町村) ジャンプアップ大会(19 市町村、96 チーム) ドッジボール大会(17 市町村、45 チーム) [大会への参加はエントリーチームから選考]</p> </div> <p>(2) 学校における食育の推進 市町村への支援により、新たに中学校 50 校で給食（スクールランチ含む）の導入推進を図ります。</p> <p>平成 22 年度の導入中学校数の増加（30 校以上）をめざし、先行実施学校の視察や先進事例の紹介などの説明会を通じて市町村に働きかけます。</p> <p>(今後の実施目標)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>既給食 実施校 (～H20)</th> <th>スクールランチ 等事業実 施校 (H21)</th> <th>スクールランチ 等事業実 施校 (H22)</th> <th>スクールランチ 等事業実 施校 (H23)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36 校</td> <td>50 校</td> <td>30 校</td> <td>30 校</td> <td>146 校</td> </tr> <tr> <td colspan="4">府内公立中学校数（政令市除く）291 校</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>	既給食 実施校 (～H20)	スクールランチ 等事業実 施校 (H21)	スクールランチ 等事業実 施校 (H22)	スクールランチ 等事業実 施校 (H23)	合計	36 校	50 校	30 校	30 校	146 校	府内公立中学校数（政令市除く）291 校				50%	<p>【 アウトプットの数値目標 】</p> <p>平成 22 年度の全国調査において、全国平均を上回る。</p> <p>「体力・運動能力、運動習慣等調査」における、「体育の授業以外で体力向上に係る取組みを継続的に実施している割合」</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <caption>（平成 20 年度実績）</caption> <thead> <tr> <th>学校種別</th> <th>府 (%)</th> <th>国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>43.3</td> <td>66.7</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>6.3</td> <td>22.6</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>「全国学力・学習状況調査」における、「毎日、朝ごはんを食べている子どもの割合」</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <caption>（平成 20 年度実績）</caption> <thead> <tr> <th>学校種別</th> <th>府 (%)</th> <th>国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>81.9</td> <td>87.1</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>73.4</td> <td>81.1</td> </tr> </tbody> </table> </div>	学校種別	府 (%)	国 (%)	小学校	43.3	66.7	中学校	6.3	22.6	学校種別	府 (%)	国 (%)	小学校	81.9	87.1	中学校	73.4	81.1
既給食 実施校 (～H20)	スクールランチ 等事業実 施校 (H21)	スクールランチ 等事業実 施校 (H22)	スクールランチ 等事業実 施校 (H23)	合計																														
36 校	50 校	30 校	30 校	146 校																														
府内公立中学校数（政令市除く）291 校				50%																														
学校種別	府 (%)	国 (%)																																
小学校	43.3	66.7																																
中学校	6.3	22.6																																
学校種別	府 (%)	国 (%)																																
小学校	81.9	87.1																																
中学校	73.4	81.1																																

【重点課題：教員の授業力を高めます】

遂行目標（プロセス）	業績目標（結果）																		
<p style="text-align: center;">【 戦略課題の目標 】</p> <p>（１）授業力改善に向けた取組み</p>	<p style="text-align: center;">【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>企画室と調整の上、目標設定 「子どもの学力が向上した」と実感する府民の割合</p>																		
<p style="text-align: center;">【 施策推進上の目標 】</p> <p>（１）授業力改善に向けた取組み</p> <p>カリキュラム NAVi プラザやカリナビ・ランチと教員評価支援チームが連携し、全小・中・高・支援学校を巡回指導し、経験の少ない教員をはじめとする教員全体の授業力アップを図るとともに、指導が不適切な教員を現場からはずします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>平成 20 年度 実績数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員評価支援チームによる支援 62 校訪問 ・カリキュラム NAVi プラザやカリナビ・ランチによる支援 300 校訪問 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>平成 21 年度 全公立学校：1,084 校訪問</p> </div>	<p style="text-align: center;">【 アウトプットの数値目標 】</p> <p>平成 22 年度「全国学力・学習状況調査」において、「国語、数学の授業の内容がよくわかりますか」の問いに対して、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と答えた子どもの割合が全国平均を上回る。</p> <p style="text-align: center;">平成 20 年度 実績</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;"> <p>(国語)</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>平成 20 年度 国語の実績</caption> <thead> <tr> <th>学校種別</th> <th>府 (%)</th> <th>国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>74.3</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>62.6</td> <td>66.8</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div> <p>(算数・数学)</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>平成 20 年度 算数・数学の実績</caption> <thead> <tr> <th>学校種別</th> <th>府 (%)</th> <th>国 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>75.8</td> <td>78.4</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>64.3</td> <td>65.5</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	学校種別	府 (%)	国 (%)	小学校	74.3	78	中学校	62.6	66.8	学校種別	府 (%)	国 (%)	小学校	75.8	78.4	中学校	64.3	65.5
学校種別	府 (%)	国 (%)																	
小学校	74.3	78																	
中学校	62.6	66.8																	
学校種別	府 (%)	国 (%)																	
小学校	75.8	78.4																	
中学校	64.3	65.5																	